

事業計画

I. 基本方針

我が国経済は、アフターコロナで急回復したインバウンド客による国内消費の押上げ、大手
上場企業を中心とした好業績などにより、総じて回復基調にあるものの、海外ではロシアによ
るウクライナ侵攻の長期化に加え、拡大を見せる中東での紛争の深刻化、中台間の緊張などの
地政学リスクの増大、不動産に端を発した中国経済の減速、国内では消費者物価・エネルギー
価格の高騰の影響、能登半島地震による被災地を超えた全国的なサプライチェーン等への影響
など、依然として不透明な状況が続いている。中小企業・小規模事業者においてはコロナ禍融
資の返済問題、デジタル化の遅れ、物価高や人手不足など、経営に与える影響も大きく、依然
として多くの課題が残されている。

当地域においても、中小企業・小規模事業者の人材確保・事業継続・生産性の向上、それに向
けた経営基盤の再構築は大きな課題であり、さらに「福山駅前を中心とする中心市街地の再生・
活性化」「一般国道2号福山道路・神辺水呑線などの幹線道路網や港湾の整備促進」「福山港内
港地区の埋立」「新たな産業用地の確保」「コンベンション機能の強化・推進」等、福山市が備
後の中核都市として持続的発展を遂げていくため取り組むべき課題も多い。

こうした中、「政策提言」「中小企業等の活力強化」「地域経済の活性化」という三つの使命・
役割を担う福山商工会議所においては、

○現場の生の声に耳を傾けた、会員事業所に寄り添った支援

○SDGs 17の目標を見据えた事業や活動の展開

○創立100周年に向けた持続可能な福山商工会議所の構築

を基本方針に位置付け、この基本方針を踏まえた次の事項を6年度主要事業・活動として位置付
けるものである。

I. 現場の生の声を反映した意見・要望活動

II. 中小企業・小規模事業者に寄り添った支援の強化

III. 中小企業の人材・人手確保支援と企業情報の発信強化

IV. MICE環境の整備と観光振興

V. 中心市街地の活性化

VI. 当所運営基盤の充実・強化

「『オール福山』『バイ福山』で郷土福山を元気にする！」をキャッチフレーズとして、役員・
議員・会員・職員が一丸となり、当事業計画の着実な推進に努め、「信頼される商工会議所」、
「なくてはならない商工会議所」の実現を目指していく。

Ⅱ．事業内容

1．地域振興のための意見・政策提言活動

当地域中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と地域経済の活性化を目指し、地域の生の声を集約するとともに、行政や関係諸団体との緊密なネットワークを活用しつつ、意見・政策提言活動を行う。

(1) 意見・政策提言活動

①地域経済活性化の観点から、福山道路整備促進や福山港機能強化などの産業インフラの整備促進を国、県、市に対し要望する。また、企業活動の活性化を促す環境を整備するため、税制改正に関する要望に加え社会経済情勢に応じた課題について、現場の生の声を集約し意見・要望活動を展開する。

○一般国道2号福山道路整備促進期成同盟会での要望活動【重点】

- ・一般国道2号福山道路
- ・神辺水呑線（高架道路）

○福山港並びに尾道糸崎港（松永港）の機能の充実・強化に向けた要望活動【重点】

- ・新規航路の開拓・誘致促進
- ・国内外における荷主発掘並びにポートセールス活動の推進
- ・クルーズ客船誘致の推進
- ・カーボンニュートラルポート形成の取組推進

○福山港内港地区の埋立に関する要望活動【重点】

②経済行政懇談会を開催し、当所・福山市・福山市議会が当地域における課題を共有し、活性化策についての意見交換を行うとともに、当所から地域の中小企業・小規模事業者の生の声に基づいた要望活動を行う。

○経済行政懇談会【重点】

③景気対策も含めた中小企業・小規模事業者施策、税制改正などの諸施策について、日本商工会議所をはじめとする関係団体と連携し、国・県・市に要望活動を行う。

○景気対策、中小企業・小規模事業者対策支援（金融・税制・雇用・規制改革等）に対する建議および要望【重点】

○広島県商工会議所連合会を通じた、「中小企業・地域活性化施策に関する要望」【重点】

（２）他会議所等との連携

①日本商工会議所・中国地方商工会議所連合会・広島県商工会議所連合会、備後地域商工会議所会頭会議との連携を通じて、地域諸課題の克服に向けた合意形成を図る。

②福山、北九州、倉敷、姫路、松本の、各県の第２都市、工業都市、歴史的建造物があるなどの類似する特色がある都市の５商工会議所で構成する「広域都市連携」に参画し、「各地の課題や取り組みに係る情報共有」、「産業振興（ものづくり・まちづくり・にぎわいづくり）」、「企業間の交流、連携促進」、「商工会議所運営」、「災害時等の相互協力」について、意見交換、先進事例の共有をはじめ、展示会等への相互参加など、事業連携に取り組む。

○広域商工会議所交流促進事業【重点】

２．中小企業・小規模事業者の成長と経営力の強化

物価の上昇やエネルギー価格の高騰など、厳しい経済環境の中、中小企業・小規模事業者が生き残りをかけて事業を継続し発展していくために、デジタル化や事業の再構築などの自己変革の取り組みを後押しできるよう相談体制の強化を図っていくとともに、当所が有する福山地域中小企業支援センターの機能を最大限に活用しながら、事業者に寄り添った支援を展開する。

コロナ禍において実施された公的融資の返済が始まった中、十分に経営体力を回復していない中小企業・小規模事業者においては資金繰りに窮する場面も想定される。動向を注視し、各支援機関とも連携を図りながら適切な支援を展開する。

雇用面では、人手不足・人材不足が常態化し深刻な課題となっている。人手・人材確保を支援するとともに、各種セミナーの開催や検定試験の施行、パソコン教室の運営などで企業が必要とする人材の育成を促進する。

さらに、経営発達支援計画に基づいた伴走型支援では、小規模事業者の売り上げ拡大に直結する踏み込んだ支援「販路開拓支援事業」に取り組む。

（１）経営支援

①原材料価格高騰や人手不足など、厳しい状況に直面する中小企業・小規模事業者に対し、巡回訪問や窓口相談を通じて事業者の生の声を収集し、地域経済の状況を把握する。さらに、個別の経営課題に対しては、経営指導員等が身近な相談相手となり、対話と傾聴を重ねる中で、課題やニーズを掘り起こし、融資や補助金・助成金など、国等の各種支援施策を活用し効果的な支援を行う。

○事業環境の変化に対応するための経営相談体制の強化【重点】

②当所ホームページで会員事業所のSDGsに対する取り組みを紹介し、会員事業所のイメージ向上や信頼性向上を図り、人材確保やビジネスチャンス拡大に資するとともに、SDGsについての情報を提供し、併せてセミナー・個別相談会を開催し、取り組み事業所の拡大を図る。また、ダイバーシティ等多様な人材が生き生きと働ける職場づくりや自治体の各種認定制度取得など、働きやすい職場づくりを推進する会員事業所の取り組みを当所ホームページに「就活応援サイト」として掲載し、事業所の価値向上、競争力強化、採用力アップ、職場の活性化等を図り、さらなる成長へと繋げる。また、各事業所の就職説明会等の日程も併せて掲載し周知を行うことで、人材確保・人手不足の解消に資する。さらに、当所・福山市・商工会他で取り組む「グリーンなものづくり企業プラットフォーム」の構築にあたり、グリーンな分野（①環境への配慮 ②女性・高齢者・障がい者の雇用促進 ③働きやすい職場環境の整備）に取り組む企業を募り、プラットフォームへの参加の輪を広げ、企業の認知度・魅力向上と人材確保に繋げる。

○SDGs普及・啓発推進事業【重点】

○働きやすい職場推進企業紹介サイト「就活応援サイト」運営事業【新規】

○グリーンなものづくり企業プラットフォームの推進【新規】

③「経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の経営力強化に向けた伴走型支援や、面的支援の一環としての地域活性化に向けたさまざまな事業に取り組んでいく。事業計画策定後の継続支援として、意欲ある小規模事業者の掘り起こしを図る中で、令和5年度に実施した商品プロモーション支援事業に取り組んだ事業者を中心に、専門家との連携によるセミナー・ワークショップ・展示商談会への出展支援など、販路開拓に向けた一連の事業を実施し、小規模事業者の売上の拡大を目指す。

○「経営発達支援計画」に基づく「伴走型支援」等の推進【重点】

・販路開拓支援事業【重点】

④地域を持続的に発展させるため、創業機運を醸成して創業者を増やす取り組みとして、創業塾や窓口相談で創業計画策定支援を行い、課題の抽出と克服を支援し創業の促進を図る。また、創業フォローアップセミナーの開催など、創業後のフォローアップにも取り組み、経営を継続して行えるよう伴走型支援を行う。

○創業支援事業【重点】

⑤中小企業・小規模事業者の販路開拓や生産性の向上を図っていくため、Webマーケティングに関する相談窓口や、当所情報化推進委員会と連携しデジタル化支援体制を構築し、デジタル化に課題を持つ中小企業・小規模事業者に対する相談

窓口を開設するとともに、専門家派遣によるプッシュ型の課題解決を推進するなど、積極的に会員事業所のデジタル化支援に取り組んでいく。また、大阪商工会議所のサイバーセキュリティお助け隊サービスを導入し、特にセキュリティが脆弱な中小企業・小規模事業者に対し、マルウェア対策など、啓発セミナー等を通じて支援を行う。さらには、福山市が取り組む「びんごデジタルラボ」「びんごＩＣＴ相談所」との連携や、市が策定した「産業・地域版デジタル化実行計画」に位置付けられているデジタルツール導入促進・支援事業等、さまざまな事業の積極的な周知や活用を図っていく。

○デジタル化支援事業の推進【重点】

- ・小規模事業者等デジタル化支援事業【新規】
- ・サイバー攻撃対策セミナーの開催【新規】

⑥販路拡大、財務改善、事業承継、デジタル化、人手不足への対応など、中小企業・小規模事業者の経営課題はより個別化し、課題解決に対するニーズは多様化している。専門家の活用、産業支援機関との連携強化により、重層的かつ複合的な支援を展開し、事業者が直面する課題の解決を全力で支援する。

○福山地域中小企業支援センターの運営【重点】

○福山市産業支援者連絡会議を活用した関係機関との連携強化【重点】

⑦令和５年１０月に導入されたインボイス制度（適格請求書等保存方式）に対して影響が大きい小規模事業者を対象に、セミナーの開催などにより、円滑な事業活動に資する。

○インボイス制度対策の周知・啓発【重点】

（２）金融支援

売上・収益や財務体質の改善に取り組む小規模事業者を対象として、円滑な資金繰り支援を実施する。

○小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の利用促進【重点】

○各種制度融資の普及と利用促進

（３）人手・人材確保支援

①（公財）産業雇用安定センターとの雇用対策協定に基づいて、会員事業所の雇用の維持や人材確保を支援するため「雇用シェアマッチング」事業を実施する。

○雇用シェア促進事業【重点】

○生涯現役促進地域連携事業への参画

②新社会人の地元企業への安定的定着を図るために、就職内定者を対象とした基礎力養成講座等を開催し、内定辞退の防止等に繋げる。また、地元企業の認知度向上や人材確保を目的として、高校の進路指導担当者対象の企業見学会、中高校生向けフィールドスタディプログラム「ローカス」等を実施していくことにより、人材採用のミスマッチを防ぎ、安定した雇用を図る。

○新社会人の地元企業定着支援事業【新規】

○企業と学生の交流事業【重点】

○地元企業認知度向上事業【重点】

○広島県産業教育振興会福山支部の運営支援

○福山産業教育振興会の運営

③地元企業の採用活動支援のために、エフエムふくやまで「就活応援ラジオ～輝く地元企業で働こう！～」を放送する。市内大学等と連携して内容を充実させるほか、当所フェイスブック等も活用して、採用情報や就活状況などを広く発信する。

○就活応援ラジオ【重点】

④当地域の企業を多面的な視点で取り上げ、インターネット上での発信数を増やすことで認知度とイメージの向上を図る。

○インターネットでの企業情報発信の強化【重点】

- ・働きやすい職場づくり推進企業紹介サイト「就活応援サイト」への新機能付与【新規・再掲】、掲載企業の充実
- ・オンリーワン・ナンバーワン企業紹介ページの閲覧数向上【重点】
- ・SDGs 取組み企業紹介の推進【重点】
- ・グリーンなものづくり企業プラットフォームの推進【新規・再掲】

⑤福山市と連携しながら新卒・既卒者対象の就職ガイダンスやUIターン合同企業説明会等を開催し、中小企業・小規模事業者の人手不足解消の一助とする。また、東京商工会議所主催「会員企業と学校法人との就職情報交換会」に参画し、会員企業と主に首都圏の大学との繋がりを支援する。

○若年者就労支援事業【重点】

○UIターン人材情報収集・提供事業の推進

○福山地方雇用対策協議会への参画

⑥介護や育児などさまざまな事情を持つ労働者や、多様な考えを持つ労働者の雇用環境を整備するため柔軟な働き方への理解を深めるセミナー等を実施する。

○外国人人材確保支援事業【重点】

○女性活躍推進法等の啓発・普及

- 障害者雇用促進に向けた普及活動
- 男女共同参画社会の実現のための啓発・普及（福山市男女共同参画センターへの協力）
- 次世代育成支援対策推進法、育児・介護休業法等の啓発・普及

⑦中小企業・小規模事業者の人材採用力の向上や若手・中堅社員のスキル向上、働き方改革関連法に伴い必要とされる労務管理対策の各種セミナーを開催する。また、企業の女性管理職や女性リーダーを養成することで職場の活性化を目指す。個別の課題については、福山地域中小企業支援センターに専門家の相談窓口を設け、課題解決を支援する。

○女性リーダー研修の開催【重点】

○新入社員研修の開催【重点】

- 働き方改革など人事労務に関するセミナーの開催
- 若手社員研修、管理者研修の開催
- ワークライフバランス実現に向けた取り組み支援
- 雇用関係各種助成金制度の啓発・普及
- 労働契約法等の労働関係法令の啓発・普及
- 福山産業教育振興会の運営（再掲）

⑧企業の生産性向上や福利厚生の充実、人材確保等を目的に、生活習慣病予防健診等の実施やアクサ生命保険㈱等と連携し「健康経営優良法人」の周知・普及に取り組んでいく。

○健康経営普及促進事業【重点】

- ・健康経営の推進に向けたセミナーの開催
- ・健康経営優良法人認定申請をサポート
- ・生活習慣病予防健診の実施
- ・健康診断サービス（通年型）の実施
- ・PET-CTがん検診の会員特別割引サービスの実施

（４）人材育成支援

受験機会拡大に繋がる「ネット検定」を積極的に推進するなど、各種検定試験の周知を図り、ビジネス実務能力を有する人材の育成を支援する。また、「福山商工会議所パソコン教室」の運営によりITスキル向上に寄与する。

○各種検定試験【重点】

- ・日商・東商検定のネット化の周知
- ・簿記検定試験への大学等での出前試験方式の実施
- 福山商工会議所パソコン教室の運営
- 検定による人材育成支援事業（簿記検定試験対策講座）

○福山珠算連盟の運営および珠算能力検定試験の普及・促進

（５）調査事業

事業者への有益かつ適切な情報提供の観点から、景気観測調査や各種調査を実施する。また、福山市の景気観測調査では、付帯調査項目を足元の経済情勢に即したものに設定することで、意見・要望活動や各種事業活動へ反映させる。

さらに、コロナ禍において実施された公的融資の返済開始による事業者への影響について、資金繰りに関してのアンケート調査を実施し状況を把握する。

○資金繰りに関するアンケート調査の実施【新規】

○広島県・福山市の景気観測調査の実施

○商工会議所早期景気観測（ＣＣＩ　ＬＯＢＯ）調査の実施

○新入社員アンケートの実施

○各種統計データの収集・公表

３．都市魅力の向上

関係機関との連携を密にしながら、地域資源を最大限活用した地域の活性化に取り組む。

特に、２０２５年に開催される「第２０回世界バラ会議福山大会」については、経済界として協力し大会の成功に寄与するとともに、ＭＩＣＥ環境整備の取り組みを始め、都市づくり・地域経済活性化実現のための調査研究を行う。

さらに、魅力ある中心市街地の形成に向けて、中心市街地活性化推進事業と当地域の賑わい創出やブランド創出につながる観光振興等に尽力する。

（１）活気とにぎわいのある都市空間づくりの推進

福山市の顔である中心市街地の賑わいとエリアの価値向上のため、福山市中心市街地活性化推進事業を実施する。

特に、福山駅前のにぎわい創出、回遊性向上に向け「OPEN STREET FUKUYAMA」を引き続き開催するとともに、当該エリアの価値向上に向けたエリアマネジメントに取り組んでいく。また、ワークショップ等を通じて、エリアごとのまちづくりの方向性を探るとともに、まちづくり人材の発掘・育成、創業支援、空き店舗活用など、魅力ある地域づくりと継続的な事業を展開する。

○まちなかエリア魅力向上推進事業【重点】

エリアマネジメントの調査・検討（勉強会の開催、先進地視察等）、商店街活性化・環境整備等まちづくり支援、中心市街地ネットワーク強化連携支援

- ・リノベーションまちづくりに資する人材発掘・育成・創業支援、空き店舗活用事業【重点】

○まちなか賑わい創出事業【重点】

- ・歩道空間活用イベント「OPEN STREET FUKUYAMA」の開催【重点】

まちなかマルシェ、まちゼミ福山の開催、継続的賑わい創出イベントへの支援、中心市街地まちづくり・エリアマネジメント勉強会への支援

○まちなか開業支援事業【重点】

空き店舗調査の実施、新規開業者等とのマッチングおよび家賃補助

（２）地域資源の活用

- ①「備後福山ワイン振興協議会」の活動を核として、「ばらの酵母菌」を活用した備後・福山産ワイン等のさらなる認知度向上、消費拡大、販路開拓に向けた取り組みの推進と、SNS等を活用した情報発信強化に努める。また、2025年に当地で開催される「第20回世界バラ会議福山大会」に向け、福山大学が研究を進めているバラ科の桜酵母「赤色酵母」を活用した「新たな福山ワイン」の共同研究・開発に取り組んでいく。さらに、備後圏域でのワイン振興の機運醸成に向け、福山近郊のワイナリーを巡る体験型観光バスツアー等の実施・商品造成を推進していく。

○福山ワイン振興事業【重点】

- ②福山琴、松永下駄、鞆保命酒、びんご畳表、備後緋の五つの伝統産業について、順次販路拡大や情報発信等総合的な支援を行う。特に、ふくやま伝統産業応援大使のいぶくろ聖志氏（和楽器バンド箏奏者）による、福山琴を始めとした福山の伝統産業の周知・PR活動を通じて伝統産業の継承、活性化へと繋げる。また、福山琴の知名度向上や新たな琴奏者発掘等を目的に、福山邦楽器製造業（協）と共同で開発した「新たな福山琴2023」のPR、販路開拓等に取り組む。

○伝統産業振興事業【重点】

- ・新たな福山琴2023シリーズ販路開拓【重点】

- 日本下駄とばし協会の運営支援
- （一財）備後地域地場産業振興センターへの参画
- 福山物産協会への参画

- ③経済波及効果や都市ブランドの向上に寄与するMICEの推進に向け、官民一体で設置された「福山市MICE推進協議会」へ参画し、産業分野に特化した戦略的なMICE誘致で「産業都市福山」としてのブランド構築を目指す「福山市MICE戦略」の推進を図っていく。

また、「福山みらいづくり懇話会」や「びんご圏域活性化戦略会議」に参画することにより、引き続き、建設的な提言・意見を発信していく。

○福山市M I C E推進協議会への参画【重点】

- 福山みらいづくり懇話会への参画
- びんご圏域活性化戦略会議への参画
- 福山市都市ブランド戦略推進協議会への参画
- 福山駅前デザイン会議への参画
- 福山駅前広場協議会への参画
- 福山都市再生協議会への参画
- 福山赴任者倶楽部の運営
- 松永親交会の運営支援

(3) 観光の振興

- ①「鞆の浦」や「福山城」を始めとした歴史的・文化的価値の高い観光資源や、ばら祭、夏まつりなどの地元を代表するイベントなど、地域の魅力を戦略的に発信し、福山の知名度、イメージの向上を図り、国内外から観光客を誘致する。特に当地域が誇る「鞆の浦」で「鞆の浦 d e A R T」を実施する。

○鞆の浦 d e A R Tの実施【重点】

- 福山祭委員会への参画
- ばらのまち福山国際音楽祭実行委員会への参画
- ふくやま・新幹線活性化協議会への参画
- 福山市みなと事業推進委員会への参画
- ふくやまフィルム・コミッションへの参画
- 鞆の浦魅力発信協議会

- ②2025年に開催される「第20回世界バラ会議福山大会」に協力、支援を行うべく、「福山商工会議所世界バラ会議支援特別委員会」を中心に、大会の成功に寄与するとともに、M I C E環境整備の取り組みを始め、都市づくり・地域経済活性化のための調査研究を行う。

○世界バラ会議福山大会実行委員会への参画【重点】

- ③福山市、(公社)福山観光コンベンション協会、当所を構成員として設立された「福山ビジットアソシエーション」において、観光客誘致・M I C E誘致やその受け入れ環境整備・福山城、鞆の浦およびホロコースト記念館などの観光資源の情報発信事業を積極的に展開していく。

○福山ビジットアソシエーションへの参画【重点】

- ・観光客誘致やM I C E誘致およびその受け入れ環境整備・情報発信事業の推進

④その他

- 島田莊司選ばらのまち福山ミステリー文学新人賞への支援
- （公財）ふくやま芸術文化財団への参画
- 広島県立歴史博物館への協力

4. 産業の発展と潜在力の強化

備後圏域の中核都市としてふさわしい高次都市機能の集積や社会資本の整備・充実に向け、関係機関と緊密な連携を図りながら、多様な活動を推進していく。

また、当地域の特色であるものづくり産業の持続的発展に向けて、ビジネスマッチング事業や知的財産支援事業等、各種事業を積極的に展開していく。

（１）産業インフラの整備促進

福山道路の早期整備と未事業化区間早期事業化、神辺水呑線（高架道路）整備の早期事業化に向け、「一般国道２号福山道路整備促進期成同盟会」への参画を通じて、提言活動のさらなる強化を図っていく。また、福山港箕沖地区の「ふ頭再編改良事業」完了に続き、箕島地区の早期事業完了のための予算確保や、福山港国際コンテナターミナルの利用促進施策の継続・拡充、クルーズ客船誘致による観光振興策などについて、引き続き積極的な要望活動を実施していく。

○「一般国道２号福山道路整備促進期成同盟会」への参画【重点・再掲】

- 広島空港振興協議会への参画
- 広島空港アクセス路線拡充検討プロジェクトチームへの参画
- 井原鉄道の利用促進支援
- 広島県東部港湾振興協会並びに福山港部会・松永港部会の運営

（２）取引先拡大による販路の開拓推進

①新しいビジネスチャンスの発掘を目的として、ビジネス交流フェアを開催するなど、ビジネスマッチング事業を実施する。さらに、関係機関との連携を強化し、見本市展示会などの出展を支援し地域産業の販路開拓を支援する。

○ビジネス交流フェアの開催【重点】

- ビジネスネットワーク推進事業の実施
- 広島県下請取引連携商談会への参画
- （公財）ひろしま産業振興機構や広島県立総合技術研究所東部工業技術センター等産業振興機関との連携の強化
- 各種技術コンクールへの協力
- 各種見本市、展示会、物産展の開催と支援および出品斡旋

②備後地域商工会議所共同事業として、新商品、新技術の開発および独創的かつ市場性のある新事業の展開に取り組んでいる事業所を表彰するなど、備後地域の商工業の発展に資する事業を展開する。

○備後地域商工会議所表彰事業（新事業アワード）の実施【新規】

（３）中小企業の海外展開支援

①ジェトロや（公財）ひろしま産業振興機構国際ビジネス支援センター等の各種国際経済団体との連携により、情報提供、各種セミナー・研修事業を行い、企業の海外展開等を支援する。

○（公財）ひろしま産業振興機構国際ビジネス支援センターへの参画

○国際ビジネス研究会の運営支援

○貿易関係商取引および海外進出企業等の照会、斡旋、協力の実施

○ジェトロ等との連携強化および海外ビジネス・貿易相談事業の充実

②非特惠原産地証明・サイン証明・インボイス証明の発給およびEPA（経済連携協定）に基づく特定原産地証明などの貿易関係証明の発給を通して、地域企業の海外取引等の支援を行う。

○特定原産地証明発給に係る日本商工会議所福山事務所の運営

○原産地証明並びに海外取引に関する証明書の発給事務の実施

（４）知財相談事業の推進

当地域中小企業のものづくり技術の向上、競争力と経営基盤の向上に資することを目的として、知的財産に係る相談機能の強化や知的財産取得支援等に取り組んでいく。

○広島県中小企業知財支援センター福山サテライトの運営【重点】

○知的財産権取得支援事業の実施

○備後知財経営研究会の運営

○広島県発明協会備後支会の運営

○備後地区生徒児童発明くふう展の開催

○福山少年少女発明クラブの運営

（５）環境対策の推進

○容器包装リサイクル法等環境基準強化に関する啓発・PR活動の推進

○環境にやさしいまち福山実行委員会への参画

○（一財）広島県環境保全公社への参画

○日本容器包装リサイクル協会「容器包装リサイクル事業」への協力

○環境社会検定試験（eco検定）のPR促進

○備後のCO₂削減『ベスト運動』の支援

5. 組織運営基盤の強化と会員サービスの充実

当所運営の基本である部会・委員会活動の活性化を図り、会員事業所の生の声の収集に努め、会員の声に基づいた事業活動を展開するとともに、会員サービスの充実に努める。また、2029年の当所創立100周年を見据え、基本方針である「持続可能な福山商工会議所の構築」に沿い、当所の活動拠点である会館の施設・設備の老朽化問題については「福山商工会議所会館再整備特別委員会」において検討する。また、当所の各種事業は国連が定めた持続可能な開発目標「SDGs」(Sustainable Development Goals)との親和性も高く、今年度も引き続き、基本方針に、「SDGs17の目標を見据えた事業や活動の展開」を掲げた。地域総合経済団体としてSDGsに掲げる理念を推進し、地域の発展に資するためにも、足元である当所組織運営体制の強化を図る。

当所の持続的な運営の基盤となる会員の維持並びに増加に向けて、業務や情報発信等を通じて、事業・活動に対する理解と賛同が得られるよう、情報発信機能の強化を図るとともに、引き続き、議員・職員一丸となって会員増強運動に取り組んでいく。

また、財政基盤の充実・強化に向けて、各種共済・保険事業の積極的推進、ビルテナント入居並びに貸会議室の利用促進を図っていく。

さらに、組織機能の強化を図るため、女性会、青年部活動を積極的に支援していく。

会員満足度の向上に向けて、既存の会員サービス事業を検証する中で、事業内容の向上を図っていくとともに、福利厚生サービスの充実と積極的な推進に努めていく。

(1) 組織の充実

- ①正副部会長懇談会の開催や、正副部会長・委員長との緊密な連携による活動を展開し、会議所活動の活性化や提言・要望活動に繋げていく。

○部会・委員会活動の活性化【重点】

○会館再整備の検討【重点】

- ②会議所の活動や事業、広報を通じて、引き続き、会員増強運動を積極的に展開していく。

○会員増強運動の推進【重点】

- ③インターネット、SNSを活用し鮮度の高い情報発信や、動画を活用した情報発信を行い、会議所活動の広範な周知と会員の利便性向上に取り組む。

○インターネットを活用した情報発信力強化事業【新規】

- ④会員および特定商工業者の正確な把握とデータ管理および活用により、当地域の経済振興に役立てる。

○会員台帳並びに特定商工業者法定台帳の作成・管理および運営

(2) 女性会活動

○働く女性の応援・子育て支援事業の実施【重点】

- 例会、研修会、視察会等の実施
- 他地域女性会との交流の促進
- 関連団体との連携強化

(3) 青年部活動

○地域活性化イベント「福山城冬まつり」の開催【重点】

○若手起業家育成事業ジュニアエコノミーカレッジの実施【重点】

- 例会、研修会、視察会等の実施
- 他地域Y E Gとの交流の促進
- 関連団体との連携強化

(4) 会員サービス事業

- ①会議所活動の理解と周知、会員間相互の交流促進、時機にあったテーマ選定を行い、新たなビジネスチャンスの創出並びに販路拡大に資する会員交流会の充実を図っていく。

○会員交流会の充実【重点】

- ②会員事業所の福利厚生の実施並びに当所の財政基盤の強化に資するため、当所独自の「福の山共済」の加入促進を図る。また、会員事業所の経営管理上のリスク対策の一環として、事業承継、相続、自社株対策などについて、専門家を招聘してのセミナー「共済フォーラム」を実施する。

○生命共済制度「福の山共済」の加入推進【重点】

- 特定退職金共済制度の加入推進
- 広島県中小企業共済協同組合の各種共済制度の加入推進
(火災共済・労災費用共済・経営者支援共済・自動車事故費用共済・シニア共済等)

- ③事業活動を行う上でのさまざまな賠償責任や事業休業リスクを補償する、日本商工会議所の団体保険制度の加入促進を図り、企業の事業存続を支援する。

○企業防衛に役立つ団体保険制度の推進【重点】

- (業務災害補償プラン・ビジネス総合保険制度・休業補償プラン・中小企業海外P L 保険制度・海外危機対策プラン等)

- ④創業周年に該当する会員事業所および会員である事業所に永年勤続し、功績顕著な従業員等の表彰を行う。また、創業・開業月に送付する会員之章により、事業継続のモチベーションの向上および当所事業のPRに繋げる。

○創業永年会員・優良従業員表彰事業の開催【重点】

○創業・開業周年会員之章カードの発行

- ⑤会報誌「商工ふくやま」や記者会見の場を活用し、会員事業所の新商品や新サービス等の情報発信の支援を積極的に推進していく。さらに、啓文社ポートプラザ店にて「商工ふくやま」を販売し、未加入事業所等にも広く会議所活動を広報する。

会報誌に加え、ホームページ、FCCIライナー、エフエムふくやま放送番組「ハロー！商工会議所」など、あらゆる広報媒体を駆使し、会員事業所の役に立つ情報提供の充実に努めていく。

○会員事業所向け広報活動【重点】

- ・会報誌「商工ふくやま」の発行
- ・記者会見の開催
- ・エフエムふくやま放送番組「ハロー！商工会議所」
- ・福山商工会議所ホームページ
- ・メールマガジン（FCCIライナー）
- ・Facebook

- ⑥その他会員サービスに繋がる事業の実施

- ザ・ビジネスモールの利用促進
- 会員限定WEBセミナーの実施
- 東商ビジネススクール研修講座への参画

（５）運営基盤の強化

- 当所ビルの最適な維持・管理
- テナント誘致活動の推進【重点】
- 貸会議室の利用促進【重点】
- スマートCCIの促進【重点】
- 職員資質の向上に向けた各種研修の実施